

Hot Line



□ 年始のご挨拶

□ オーストラリア研修報告

□ 事務長着任挨拶

～地域密着型医療施設のご紹介～
□ 地域医療ネットワーク

□ 健康まつり

～第8回生 戴帽式～
□ 福岡水巻看護助産学校

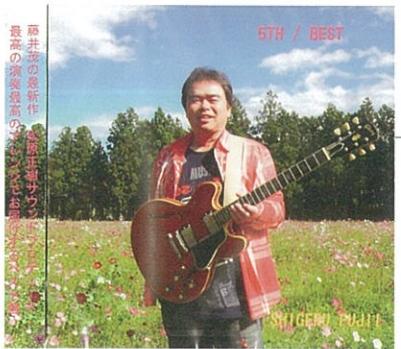
□ 水巻町町民公開講座

□ こちら健診室 医食同源



2016年、年始のご挨拶を申し上げます。皆様、お元気にお過ごしでしょうか。最近の救急件数の増加に対応すべく、10月よりベッド数を15床増床致しました。救急車搬入数は500件／月、新規入院数も600／月をコンスタントに超すようになりました。入院が多ければ、退院も多く出さないとならず、患者さん、家族の方は窮屈な思いをされたと思いますが、多少は緩和されるものと考えます。20年後には、この地域は人口が30%も減ることが予想されており、(高齢者の減少ではなく、若年層の低下)少子化が与える影響も今後、考えなければならない時期が来ることでしょう。病院によっては、すでに稼働していないベッドを数多く抱えているところもあり、今後ベッド返上等、地域医療計画によりベッド数の調整を厚労省は求めてくるものと思います。当院のモットーでもある最新の医療器械の充実を今後も図りつつ、救急対応は当院の地域医療への最大の貢献であるという自負心のもと、鋭意、努力していくつもりです。

院長 藤井 茂



藤井 茂
最新アルバム「5TH/BEST」

松原正樹プロデュース
総務課で販売中



第9回 健康まつり

第9回健康まつりが10月18日(日)に開催されました。当時は予報通りの快晴で、今回は過去最高の約1700人の来場者数に達し、賑わいを見せっていました。ステージイベントでは北九州市立洞北中学校吹奏楽部の演奏で幕を開けキッズダンスやマーチングバンド、猪熊太鼓など様々な催しを地域の方々に演出していただき、大盛況となりました。これもひとえに地域の皆様、遠賀郡消防本部、折尾警察署、出店業者様のご支援とご愛顧によるものと、心から感謝いたしております。今後も遠賀中間地区における地域病院として、安心で安全な医療提供をさせて頂きますので、宜しくお願い申し上げます。



新任挨拶

新年明けましておめでとうございます。15床の増床(227床)と共に、昨年10月から福岡新水巻病院に勤務しております桐島です。ここ数年、地域医療構想、包括ケア、在宅復帰率、重症度にM項目の追加等々、周りで飛び交う活字が多くて消化不良を起こしそうですが、先ずは地域の皆さんから今まで以上に信頼して頂けるよう他職種連携も図りながら地域医療の充実を図って参りたいと思います。昨年は、皆さんにご厚情を賜り感謝申し上げます。今年も変わらぬご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。



事務長 桐島 弘

第1回 水巻町民公開講座 ~子どもの未来のために~

10月18日、福岡新水巻病院 健康まつりの後、福岡水巻看護助産学校の4階講堂にて『第1回 水巻町民公開講座』～子どもの未来のために～を行いました。藤井茂院長の開会宣言の下、第一部は福田美和子小児科部長の司会で始まりました。最初に、遠賀中間医師会会长・つだ小児科医院院長の津田文史朗先生に、「食物アレルギーとアナフィラキシー」について特別講演を頂きました。アレルゲンが生命に危機を与えて過敏な反応を起こすことをアナフィラキシーと呼びますが、呼吸困難・血圧低下・意識障害など致命的な状態の発生件数が、日本において年間で5,000～6,000人との報告もあり、食物アレルギーとアナフィラキシーは年々増加しているとのこと。その食物アレルギーの種類、原因、症状などを、具体例を挙げて詳しく分かりやすくお話し頂きました。そして、アナフィラキシーショック症状の際に自分で使用できるエピペン（医師の治療を受けるまでの間、症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための自己注射薬）の使い方を、練習用エピペンを用いて教わりました。エピペンを使用した症例の82.2%で、症状が改善したとの報告もあるそうです。



第二部は白川嘉継周産期センター長の司会で、秋原美華小児科医師が「予防接種の目的とその効果」について発表しました。予防接種は「自分が病気にならないように」、「病気にかかった時に症状が軽くてすむように」、「人にうつさないように」する為に必要であり、また公費助成の開始などで予防接種率が高いと罹患率が低くなるという統計も、種類毎にグラフで分かりやすく表して講演しました。



二番手は、水巻町役場 健康課の保健師 福井正人氏より、「水巻町における予防接種の現状と行政の取り組み」について、各予防接種の接種率を取り上げて頂きました。その結果としてMR（麻しん・風しん）2期、二種混合（ジフテリア・破傷風）、日本脳炎2期の接種率が低いことに着目し、接種の開始時期までの間隔が空かない様、各予防接種に勧奨時期・方法を定めて取り組まれたそうです。



そして、白川嘉継周産期センター長が「発達症医療の現状」として、発達に影響を及ぼしている様々な現状で病名がつく症状や個人の特徴と捉えてもよい行動を、具体的な例を挙げて講演しました。疾病の特徴から判る行動パターンや、その行動に対しての接し方も理解しやすく説明し、睡眠不足やテレビの及ぼす悪影響の統計に至っては、会場からも驚愕の声が上がりました。



最後は、公文教育研究会 公文式水巻教室の伊藤ゆう子先生に「『歌と絵本の子育ての勧め』～による母子支援活動～」の講話で締め括って頂きました。子どもの目を見ての歌いかけや読み聞かせは、子どもの脳の情緒の源に働きかけ、「聞く」力を育て、そして親子の絆をつくり、良好な親子関係の形成や子どもの基盤的な発達にも貢献するほどの、大きな影響力を持つことを教えて頂きました。

全員の講演終了後、シンポジウム形式の意見交換会では、参加者からの質問も多く寄せられました。またアンケートにも、「保育所でエピペンを預かることになった為、とても分かりやすくタイムリーに学べて良かった」や「予防接種の必要性を強く感じた」、「子どもの心を健康に育していく為に、歌や読み聞かせは不可欠なので若いお母さんたちに伝えたい」といった意見を頂きました。これからも地域の皆様に有意義な情報を提供できます様、取り組んでいきたいと思っております。ご講演頂きました講師の方々、ご参加頂きました地域の皆様、誠に有難うございました。

オーストラリア研修報告

平成27年10月28日から11月3日の7日間、オーストラリアのゴールドコースト・ブリスベン・シドニーに研修に行かせていただきました。今回の研修では、ブリスベンにある PRINCESS ALEXANDRA HOSPITAL(以後PAH) のER・回復リハビリテーションを見学させていただきました。PAHは、1901年に設立され、小さな病院でスタートし、今では州でトップとなる大病院として機能している病院でした。オーストラリアでの医療は、医療保険制度や患者の病状に合わせ病院を選択し、治療を受けていることを説明されました。患者の病状に合わせた医療の提供は、日本と似ているところもあり、患者が納得できる医療・看護の必要性を改めて感じました。ERは患者の優先度を考えた診察室・処療室があり、ひとつの部屋ですべての治療・処置が行えるようになっていました。また、器材・衛生材料など釣り棚で整理整頓され、速やかに行動できるように配置されていました。回復リハビリテーションでは、転倒リスクを信号機と同じ配色で区別しており、誰が見ても一目でわかるようにベッドサイドに表示していました。表示することで、全てのスタッフが患者の行動に対しより注意を払い、転倒リスクを軽減することにつながると思いま。また、医療・看護を提供するにあたり看護師が中心となり患者の状態を把握して、医師・他部署との連携をとて患者へのケアが行われていました。PAHの見学を通じ、医師・看護師・他職種がひとつになって、家族を含め患者中心の医療の提供がされていると感じました。患者中心の医療・看護は、まず患者の安全が確保されることだと思います。そのためには、自分の行動に責任を持ち、安心・安全な看護が提供できるようこれからも頑張っていきたいと思います。オーストラリアの観光は、アイスランド・サファリに参加し4WDに乗って山道や海辺を走り、ランチ・ティータイムはオーナーの奥様の手作りでおもてなしを受けました。海辺でのバーベキューは最高でした。また、世界遺産であるオペラハウスや博物館・美術館など見学してきました。オーストラリアの料理は多国籍で一番美味しいのは、オーストラリアで有名なシーフード専門店で新鮮なシーフードを堪能できました。また行く機会があれば、足を運びたい場所です。

地域医療ネットワーク

医院の特徴・特色を教えて下さい

当院は平成18年の開業で、もうすぐ10周年を迎えます。内科は、院長(豊澤 賢明)の担当で糖尿病を中心とした内科一般を、外科は、副院長(豊澤 祐子)の担当で乳腺の専門外来を行っておりまます。内科は、院内の迅速検査が特色で、糖尿病の管理に必要な血糖、HbA1cだけでなく、末梢血検査や肝機能・腎機能等の生化学検査も院内で出来るため受診日に結果を出すことができます。外科は現在、予約制の乳腺外来のみを行っています。マンモグラフィー(乳房X線撮影装置)と超音波検査を駆使して、乳がんの早期発見のため努力を続けています。手術や抗がん剤治療が必要になれば、福岡新水巻病院を始め、多くの病院へご紹介し、治療を受けてもらっています。



▲マンモグラフィー撮影



▲副院長 豊澤 祐子先生



▲待合室



▲血液検査装置

とよさわクリニック



院長 豊澤 賢明先生

休日の過ごし方・趣味など

《院長》休日は家にいて本を読んでいることが多いです。池波正太郎の時代小説が多いですね。
《副院長》語学が趣味でフランス語、イタリア語などを並行して勉強しています。

福岡新水巻病院との連携について

私(院長)は当院開業前に福岡新水巻病院に勤務していました。おかげで今でも顔の見える連携ができる為とても助っています。電話で急病の患者をお願いした時に、「すぐに連れて来てください」と言われた時の安心感は何物にも代えがたいものがあります。自分の家族も何度もお世話になっています。

読者の方々へ一言

福岡新水巻病院は数多く救急車を受け入れている病院です。そんな頑張っている病院を地域で応援しましょう。

とよさわクリニック

診療科目

内科・乳腺科(乳腺科完全予約制)
〒807-0053 遠賀郡水巻町下二東1-4-23
TEL/093-201-7171
FAX/093-201-7170

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
14:00~18:00	○	○	○	—	○	—	—

※乳腺科は13:00~17:00

※木曜日、土曜日の午後と日祝日は休診



25台以上駐車可能な広い駐車場(第1・第2)を完備しておりますので安心してご来院くださいませ。



No.
3

かかりつけMAP



福岡水巻看護助産学校 第8回生 戴帽式



戴帽式

10月16日に戴帽式を行いました。保護者の方々に見守られる中、学生一人一人がナースキャップを戴き、これから看護に携わる者としての自覚と決意を新たにしました。戴帽式後は技術演習で、日頃お世話になっている保護者の方々に手浴や足浴の技術を披露しました。保護者の方々は我が子の成長ぶりにとても感動していました。



健康まつり

10月18日に行われた第9回健康まつりに参加しました。福岡水巻看護助産学校では「こどもの試着体験コーナー」を設置し、たくさんのかども達に体験してもらいました。

学校説明会のお申込み・お問い合わせは

福岡水巻看護助産学校

☎ 093-201-5233

ホームページ www.kango-mizumaki.jp/



こちら健診室 医食同源

ことしの冬は、 「ウインターブルー」(季節性情動障害)を考える

Q ウィンターブルーって、なーに!?

A 毎年、日照時間が短くなると季節性情動障害(季節性のうつ病症状)が表われ、日差しが長くなると回復していくというサイクルをくり返すウィンターブルー。別名、冬期うつ病といいます。症状は、「倦怠感・気力の低下があり、長時間睡眠をとっても睡眠不足を感じ、過食を伴う場合もある。特に甘いものや炭水化物に偏る。よってチアミン不足になりやすい。

Q 太陽の日にあたっていればいいの!?

A 曜時間が短くなり、セロトニンの分泌が減少し、うつ状態になります。『日なたぼっこ、などは、いかがですか!?

Q セロトニンって、なーに!?

A セロトニンとは、三大神経伝達物質の一つ。人間の精神面に大きな影響を与えます。
(心理状態を含め神経細胞の機能をサポートします。)

Q 原因は!?

A 日光浴はもちろんですが、それだけではありません。同時にトリプトファンが必要です。トリプトファンは食事からしかとれません。

Q セロトニンを増やす食品って、なーに!?

A 豆乳・牛乳・ヨーグルト・プロセスチーズ・納豆・肉類・赤身魚・バナナなどがあります。

かとう ゆきこ
加藤由子 プロフィール
1978年中村学園大学卒業。管理栄養士・食品衛生監視委員・食品衛生管理者。予防医学を中心に、母子～高齢者を対象に保健指導歴26年、実務36年の経験を活かし「間違つていませんか?食生活」～栄養は、細胞学～をテーマに講演活動中。



お問い合わせ 福岡新水巻病院 健診室
093-203-2252



社会医療法人財団 池友会

福岡新水巻病院

〒807-0051 福岡県遠賀郡水巻町立屋敷1丁目2-1

<http://www.f-shinmizumaki.jp/> E-mail:info@f-shinmizumaki.jp/

<交通機関>JR九州 鹿児島本線 JR水巻駅下車 徒歩10分

TEL 093-203-2220 (代) FAX 093-203-2221

病院理念 手には技術 | 頭には知識 | 患者様には愛を

基本方針 高度医療 | 総合医療 | 地域医療

● 診療科目のご案内

内科・循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・小児科
新生児内科・児童精神科・外科・整形外科・形成外科
脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科(人工透析)
麻酔科・産婦人科・救急科・リハビリテーション科
放射線科・歯科口腔外科(インプラントセンター)
臨床検査科・病理診断科

● 診療内容

透析センター・治験管理・人間ドック

● 診療時間のお知らせ

午前9:00～12:00 (専門外来)

午後2:00～5:00 (内科系・外科系)

※ただし、急患の場合はこの限りではありません。

- ・臨床研修指定病院
- ・救急告示病院
- ・日本医療機能評価機構認定病院

